

# 代表質問から

## 財政

問 平成十八年度当初予算をどう評価しているのか。

答 厳しい財政状況の中、事業の仕分けや指定管理者制度の導入などの取り組みによって分権型社会の進展など時代の変化に対応した施策への転換を図った。このことで「10のちから」や「アクションプラン」との一体が図られ、総合的、横断的な施策への転換を進めた予算とすることができたと考えている。

問 大型船で千葉県民を都内から大量に救援するようにすべきと思うが、どう考えているのか。

答 船舶による帰宅困難者の輸送は、有効な手段と考えている。これまでも、広域的な対応が必要なことから八都府市合同防災訓練で海上輸送訓練を実施してきたところであり、平成十八年度も東京都などと連携して訓練を実施する。今後は、海上自衛隊や海上保安庁の他、大型船事業者を始めとする各種船舶事業者と協議し、災害時の協体制度を確保するよう努める。

## 中小企業施策

問 「滞納整理推進機構」を設け、徴税体制を強化すべきではないのか。

答 「滞納整理推進機構」は市町村が共同で滞納整理をする組織であるが、県にとっても、個人県民税の滞納縮減対策として有効なものである。この機構については、平成十七年度、県の市長会、町村会が中心となって、全市町村が参加する形態で設立の可能性を検討していたが、現段階ではまだ合意に達していない。

問 公共事業を生活基盤密着型に切り替え、中小企業への発注率を高めるべきだと思いが、どうか。また低金利や無担保の資金を必要な事業者へ提供すべきではないのか。

答 公共事業の発注に当たり、①中小企業が受注しやすいような分離・分割発注の推進 ②中小企業が参加する共同事業体方式の採用 などにより、できる限り県内中小企業が受注できるように努力している。さらに現在、研究会を設けて、受注機会拡大に向けた施策も検討している。

## 防災対策

問 首都圏直下地震対策として、大型汽船等の事業者と協定を結び、

村もあることから、今後とも引き続き、必要な支援を行っていく。

また、中小企業者の経営の安定のため、信用保証協会の保障制度と連携した融資制度を設け、低利な資金を提供している。特に短期の運転資金や小規模

## 福祉問題

問 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例案」の制定理由は何か。

答 県民から「差別に当たると思われる事例」を募集したところ、障害者が誤解や偏見のために日常生活のさまざまな場面で理不尽な思い、暮らしにくさを感じている実態が明らかになった。この場合、差別の多くがそれと気づかずに行われている実態を踏まえれば、単なる広報・啓発では十分ではない。「差別とは何か」を県民の目明らかにするとともに、個別の事例に即した解決の仕組み等を定めた条例を提案した。

## 食育

問 食育は教育の分野でも重要だと思いが教育委員会ほどのように認識しているのか。また県内中学などの成功例を分析整理し、情報収集、研究に取り組むべきだと思いが、どうか。

答 食生活を取り巻く社会環境の変化などに伴い、児童の食生活の乱れや肥満傾向の増大などが見られる中、望ましい食習慣を身につけることは重要であり、心と体の健康にも大きくかわってくるものと認識している。

## 医療問題

問 国は、がん医療水準均てん化を促進するため、がん診療連携拠点病院の体制整備を図ろうとしているが、県はどう取り組んでいくのか。

答 国が新たに定めた「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、県では、主に拠点病院の医師への研修の実施や症例相談、診療支援等の機能を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」を早急に選定することとしている。

さらに二次医療圏ごとに指定する「地域がん診療拠点病院」を活用し、全圏域での指定に向けて取り組み、今後も総合的な対策を推進していく。

## 千葉都市モノレール

問 県・市・会社間の契約を「和解」にした理由は何か。また「和解」成立後の再建手続や再建後の会社はどのようなになるのか。

答 千葉都市モノレールについては、県・市・会社の三者で経営再建だけではなく、今後のモノレール事業をどのように進めていくのか、という二つの大きな問題の解決に取り組んだ結果、公的支援対策や今後の事業の実施体制について合意に至った。

今後、合意した内容や相互の関係、三者が果たすべきそれぞれの役割を明らかにして、着実に実行していくことが極めて重要であると考えている。

このため、今回の合意内容の全体を示すことができ、かつ、包括的な処理と実行が担保できる「和解」という形が適切な手段であると判断した。

今後、地方自治法に基づき、県・市、それぞれの議会の議決を得た後に、県・市・会社の三者が千葉簡易裁判所において和解を行う。

これを受け、会社では、法令上必要とされる減資、増資等の手続を始める。

さらに県は、市に約六十五億円の負担金を支払い、市においては、会社資産の一部を譲り受ける契約を会社と行う。

これらの再建策の実施によって、累積損失の解消と単年度損益の黒字化が図れるとともに、今後十年間の資金繰りに見通しが立つなど、自立した財務構造が構築され、長期的で安定した経営が見込まれる。

## 平成十七年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者

学芸		個人	
団体	個人	個人	個人
書写 物語創作 詩 ポスター ピアノ 口ポット創作・競技 珠算 ポスター 図画 読書感想文 標語 図書館調査学習 観察運動	屋代 彩乃 宮葉 唯 雨宮 七彩 栗原 陸 高尾 奏之介 池田 海斗 島山 千明 北崎 聡太 重政 舞子 高橋 董 小野 未稀 高橋 亮太 青木 風人 徳永 祥子 石井 俊裕 飯尾 直子 デブー小倉芽里沙 五十嵐 敬也 喜多 美幸 金子 優希 高橋 沙宗 長尾 庸子 浮階 沙織 原田 克彦 高木 有希 石橋 宏一 習志野市立立津小学校 野田市立南部中学校 習志野市立第一中学校 習志野市立第五中学校 船橋市立法田中学校 千葉県立幕張総合高等学校 千葉県立船橋高等学校 千葉県立上総高等学校 千葉県立柏高等学校 習志野市立習志野高等学校 市川市立新浜小学校 吉田 裕貴 矢後 公誠 守屋 凌太 藤澤 亮子 関 英幸 村松 勇紀 猪口 薫 鳥居 彩乃 藤川 采子 林 志歩 田村 龍輝 高木 雄斗 小崎 勝也 市原 紫帆 大川 剛 高瀬 秀穂 梅澤 亮平	勝浦市立清海小学校 千葉市立菅田東小学校 市川市立塩浜小学校 勝浦市立名木小学校 柏市立酒井根小学校 千葉市立都賀小学校 千葉市立大森小学校 千葉市立若松台小学校 茂原市立茂原小学校 国府台女子学院 小学部 千葉市立真砂第三小学校 松戸市立和名ヶ谷中学校 袖ヶ浦市立平川中学校 市原市立三和中学校 野田市立関宿中学校 袖ヶ浦市立昭和中学校 茂原市立南中学校 茂原市立南中学校 千葉市立台はし台中学校 千葉市立新宿中学校 千葉市立新宿中学校 市原中央高等学校 千葉県立千葉商業高等学校 千葉県立千葉高等学校 千葉県立千葉高等学校 千葉県立千葉高等学校 千葉県立千葉工業高等学校 千葉県立千葉工業高等学校 千葉県立流山高等学校	陸上 バドミントン 空手 なぎなた カヌー カヌー カヌー カヌー 陸上 バドミントン バドミントン レスリング レスリング レスリング フィギュアスケート カヌー テニス レスリング レスリング バドミントン レスリング レスリング レスリング カヌー